

会報
62号



函館の歴史的風土を守る会会報
No.62 H11. 6.30
発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9
五稜郭タワー株式会社(商角)
電話(0138)51-4785



平成11年度 総会風景 (函館新聞社提供・H11,5,29)

21年目にダッシュ！

函館の歴史的風土を守る会々長 浜島 国四郎

荒木恵吾先生(南茅部町文化財保護審議会々長)をお招きした勉強会と本年度の総会を終了しました。

本年はいよいよ21年目に入ります。兎角マンネリになりがちな会の運営を初心に戻り、積極的な活力あるものにしたい、その為には皆々様の声と行動が必要です。

昨今、地域内外から高く評価されている、函館市の歴史・歴史的文化遺産について、これは市民の共有財産・宝物であると言われておりますが、果たしてどれだけの市民が共有している実感を持っているのか、心細い限りです。

歴風会の「学び・知らせ・守る」のモットーは、この様な現状を踏まえたものだと思います。今年度は、私達の先人より受け継いだ、市民の共有財産(函館の歴史・文化財)を市民と共に実地に歩いて「見る・ふれる」を通じて市当局への陳情(文化財指定・活用・広報)や、私達の出来ることなどを確かめ、行動する所存です。

会の運営委員会・月例会・学習会・見学会等はすべて公開です。どなたでも、一緒に参加して率直な話し合いが出来ることを心から望みます。特に月例会では、会運営についての批判意見をはじめ、事業企画運営などについて率直な話し合いを考えております。会員・会員外を問わず、お誘い合わせの上、ご参加いただければ幸いです。

◎ 行事担当者決まる！

＝運営委員会報告＝

- ◇ 5月29日の総会決議を受けて、去る6月16日の第3回運営委員会で各行事の担当者が決まりました。(別表参照) 各事業に参加御希望の方は会長まで連絡ください。52-0856
- ◇ 各行事担当者は7月21日頃までに、各部会の打ち合わせを終了してください。(日程・予算等について) 部会開催日の日時を会長に連絡ください。
- ◇ (社)北海道コミュニティ運動協議会が主管する生活会議運動に、当会も参加することになりました。
- ◇ 会報については、スタッフ陣を強化し、偶数月に「1枚モノ」を発行し、年1回、「年報と紀要」を兼ねたものを発行する。

平成11年度 事業計画案

○印 担当責任者

事業計画	担当者
① 道南・青森の古代文化を訪ねる 函館の給水と排水を考える 研修旅行(見学会)	◎石黒 荒木 小熊 落合 佐々木 根本 吉村
② 函館の未来を考える 文化財指定推進・文化遺産活用・陳情 港湾整備計画・駅前再開発・分庁舎	◎石井 荒木 石黒 上貞 宇野 上谷 佐藤 対馬
③ 家族で大好きな函館(風景・町並み・ 建物を撮る)・写真展、スタンプラリー	◎宇野 飯田 金曾 清野 吉村
④ 函館(周辺地)の方言・生活習慣を学ぶ	◎千葉 対馬栄 若山
⑤ 運営委員会・定例会・学習会	◎吉村 池内 加賀谷 木村
⑥ チャリティーパーティー	◎対馬 (全員)
⑦ 会 報	◎落合 宇野 太田 高瀬 田尻
⑧ その他(会員拡大・事務局)	◎吉村 全員

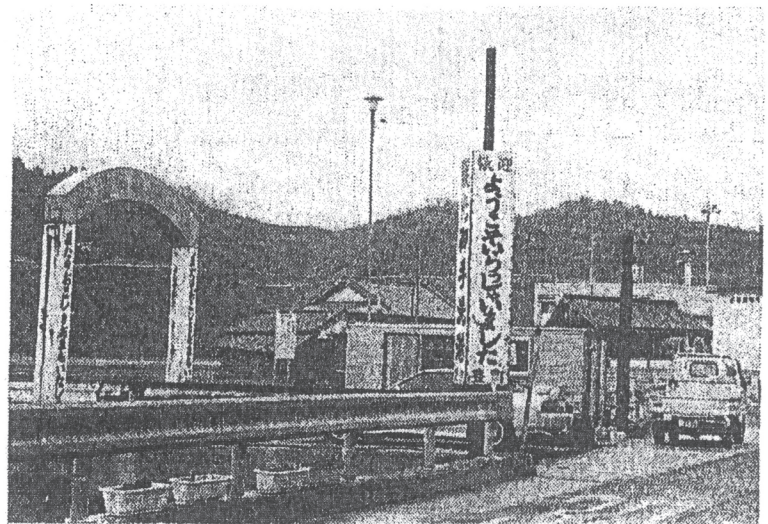
北前船で栄えた瀬戸内の島 御手洗を訪ねて

函館の歴史的風土を守る会副会長 田尻 聡子

菅原道真が太宰府へ流謫(るたく)の折、島で手を洗ったという故事により御手洗(みたらい)と名付けられた。北前船で栄えた瀬戸内の島、御手洗を訪ねて。北前船で栄えた瀬戸内の島、御手洗を訪ねて。北前船で栄えた瀬戸内の島、御手洗を訪ねて。

御手洗の玄関、高速艇の発着場

御手洗にも江戸時代に建てられた豪勢なお茶屋がある。現在、地区の会館として利用されている。全盛時代は優に百人を超す遊女がいたとか。裏座敷の天井、障子の腰板など薩摩藩が藩外への持ち出しを固く禁じていた屋久杉が使われていた。銭に飽(あ)かしての普請であったに違いない。



興味しながら御手洗町民の開き直った姿勢にうらやましさを感じた。本来この種の歴史は隠し果(お)おせるものならソツとしておきたいものだろうに、御手洗の人々は負の遺産までも町の大切な財産としてむしろ、町勢振興のセールスポイントに位置づけているのには驚いた。これも事商いにかけては何百年来培われた伝統であるしたかきに因(よ)るものかといたく感服した。



「負の遺産」も観光に活用

したたかな商魂今も

は運賃を稼ぐだけでなく船主が荷主であったので、港で売買する買積船、言うなれば動く総合商社であったはずだ。

瀬戸内海を上り下りする船は宿泊、遊興施設が多い御手洗で風待ち潮待ちの長逗留(とまりゆう)をし、街は更なる発展を期した。

御手洗の商人たちは北前船がやって来ると借金してでも銭をかき集め、昆布、酒、呉服、雑穀、たばこ、池、茶などさまざまな品を買い込み、後日、時宜を見て近隣の島々へ販賣し、これにより莫大(ばくだい)な利益をあげることができた。

女たちの稼ぎ所は陸(お)り百数十年の歴史に幕が下ろされた。

今日、御手洗はかつてのような商業の街ではない。耕して天に至る段々畑の美味なるミカンを主産業とする農業のまちであり、また瀬戸内の多島美の景観や江戸時代の歴史的町並み等が売りものの観光の町でもある。

その昔、いん脈(いんみく)を極めたオチヨロ舟の火はすっかり消えてしまったとばかり思っていたが、酒宴ともなれば三味と鼓が鳴り響き、これに合わせてオチヨロの歌と踊が出るやお座敷はグリーンと盛り上がった。

御手洗の銘菓の一つにオチヨロ舟がある。舟をそっくりかたどった素朴な最中である。そのオチヨロ舟を

賞味しながら御手洗町民の開き直った姿勢にうらやましさを感じた。本来この種の歴史は隠し果(お)おせるものならソツとしておきたいものだろうに、御手洗の人々は負の遺産までも町の大切な財産としてむしろ、町勢振興のセールスポイントに位置づけているのには驚いた。これも事商いにかけては何百年来培われた伝統であるしたかきに因(よ)るものかといたく感服した。

が蜷集(いしゅう)した。このオチヨロ舟も昭和三十三年の売春防止法施行により百数十年の歴史に幕が下ろされた。

今日、御手洗はかつてのような商業の街ではない。耕して天に至る段々畑の美味なるミカンを主産業とする農業のまちであり、また瀬戸内の多島美の景観や江戸時代の歴史的町並み等が売りものの観光の町でもある。そのオチヨロ舟を

歴風会

街も生き物で、そこに住む人々と共に、時の流れの中で変化していくのは逆らえない。ただ、その変化の根底に確たる哲学があるのか、誇り高い美学があるのかどうか、大きな問題となる。

莫大(ばくだい)な金をかけて、歴史も自然も壊して、目先の金儲(もう)けのみに走ると、無残なことになる。例えに使って申し訳ないが、アメリカのラスベガスなどは、もともと砂漠の中の賭博(とばく)場だから、何をやっても許される感じで、失って困るようなものも余りないように思える。

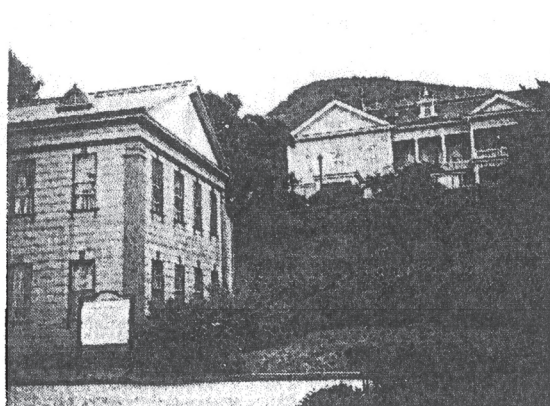
ところが、ヨーロッパのパリやローマや、日本の京都や高山や函館のような歴史のある街はちよつと違う。壊して無くしてしまつては、余りにももったいない物が多すぎる。

函館の街も時代の流れで、古い元の街から新しい郊外に人も物も中心点が移っていく。明治以降のハイカラな建

中林利数の やませの風

物や町並みは、ほとんど古い元の街の方にあるから困る。そういう中で、「函館の歴史的風土を守る会」というものができ

元町の異国情緒のど真ん中に高層マンションが建つことになったのを、反対して止めた。明治の外に向かって開かれた神戸、長崎、横浜、新潟と共に、開港五都市景観会議を開いた。会報「れきふう」を出し続け、毎年「歴風文化賞」というものも出している。公的な指定を既に受けた文化財は避けて、その周辺で街並みを保存するた



旧函館支庁舎(手前)と旧函館区公会堂

た。略して「歴風会」。旧北海道庁函館支庁の庁舎を現地で保存しよう、民間レベルで市民が手弁当で始めたものから広がり、二十一年目になる。一般的な抽象論で、もっともらしいことを言っているのではなく、一つ一つの建物を残すために具体的に取り組んで、確実に成果を上げているからエライ。

バブルの最中に、函館らしい美しい

めに大事にしたものを選んで表彰し、基金を積み立てて寄付を続けている。等々。

毎年二月には、「町並みを美しくするチャリティーパーティー」があり、今年は私が実行副委員長を仰せつかった。五千五百円会費で千円分はチャリティーで、四百五人がお集まり下さった。

保存建築物三件の他、個人や団体が表彰された中で、面白いのは「函館バラ会」。

教会や公園にバラを植えて、文明開化以来の町並みに色を添えているグループだが、そのバラの種は、あの「アンネの日記」のアンネの隠れ家の裏庭に咲いていたものの流れをくむものなのだそう。バラは枝を切って挿し木し、子孫を広める。これが、歴史的風土というものです。

建物や町並みを目に見える形で残すということは、同時にその裏にある目に見えない地域の心意気や、誇りや、理想をも残すということではないでしょうか。

時を同じくして、この高山市市民報社の小鳥社長から、「飛騨高山伝統文化地域を守る会」というものができて、ホーム・ドクターのような助言役を作るといふ便りが来た。

省略すれば「飛伝会」? 「高伝文」? 「伝文」?。どうなるのでしょうか。いま同じ悩みを抱える町が、日本中いたる所にあり、全国町並み保存連盟というものもある。

◎ お知らせ

- ◆ 第2回「歴風会・ウォッチング」7月3日(土) 午後1時 旧函館西警察庁舎前集合
- ◆ 「月例会」8月19日(木) 午後6時 函館工業高等学校同窓会館にて
月例会は、第3木曜日、定期的開催します。